

荷主等における荷役災害防止対策の好事例

平成 27 年度厚生労働省委託事業で実施の「現場安全診断」から集められた「荷役労働災害防止の好事例」の一部を紹介します。

【好事例 1】 アオリを利用したステップの設置

【好事例 2】 シート掛け、外し作業場

【好事例 3】 トラック荷台への昇降設備

【好事例 4】 ハンズフリー装置による誘導

【好事例 5】 マストによる挟まれ防止柵

【好事例 6】 被災防止用マットの設置

【好事例 7】 手摺付き昇降設備

【好事例 8】 荷上げ用クレーン装置の設置

【好事例 9】 安全帯取付設備の設置

【好事例 10】 リフター付き台車の活用

【好事例 1】アオリを利用したステップの設置

アオリに立って作業すると危険性が高い。このステップにより安定度も高まる。移動しての利用することも容易である。



【好事例2】①シート掛け、外し用プラットフォーム

プラットフォームからシート掛けができるので、墜落・転落のリスクが低減する。



【好事例 3】トラック荷台への昇降設備

飛び降り、飛び乗り防止に効果がある。



【好事例 4】ハンズフリー装置による誘導

ハンズフリーによる誘導により、作業場の騒音による聞き取りにくさを防ぐ。



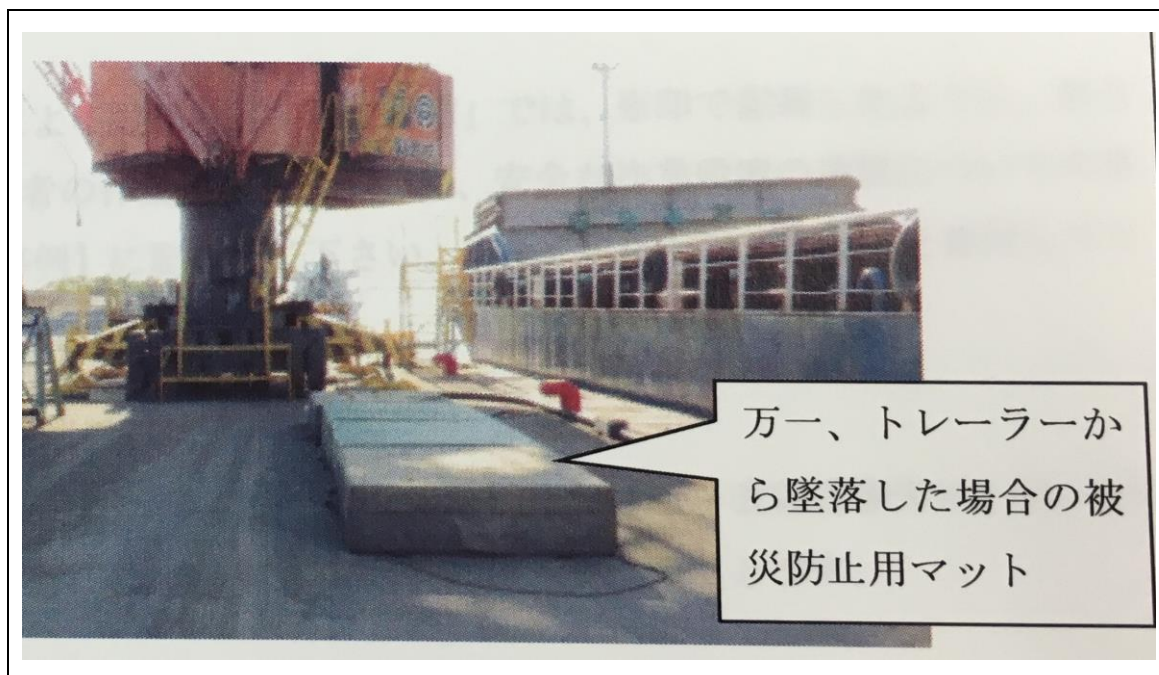
【好事例 5】 挟まれ防止柵

毎年、運転席から身を乗り出してマストに挟まれて死亡する災害が発生しているが、この柵により、当該災害を防止することができる。



【好事例 6】被災防止用マットの設置

万が一、トラック荷台から墜落した場合の緩衝となる。



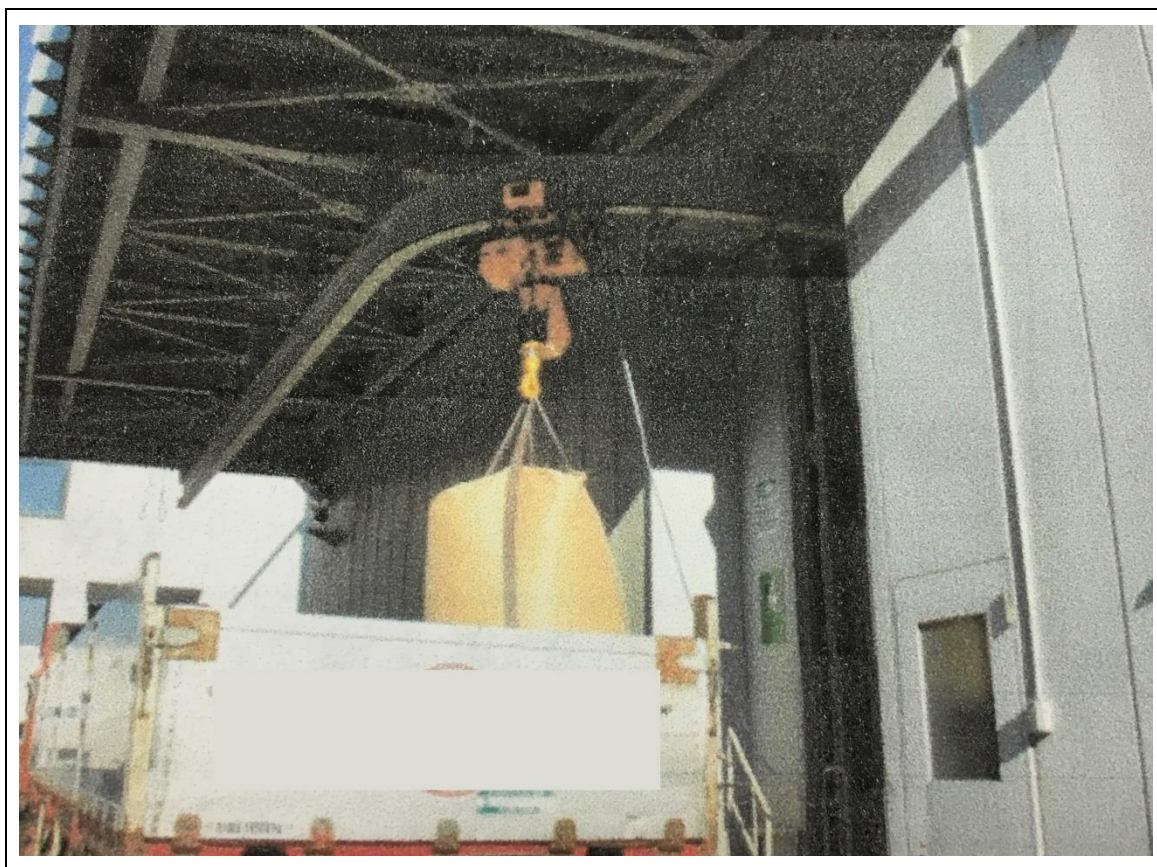
【好事例 7】手摺付き昇降設備

手摺りが付くことにより、転落のリスクを低減できる。



【好事例 8】 荷上げ用クレーン装置の設置

できるだけフォークリフトによるフレコンバックの横持ち作業を無くすことにより、不安定な作業によるリスクを低減することができる。



【好事例 9】 安全带取付設備の設置

省スペースのため、トラック二台分確保できる。



【好事例 10】リフター付き台車の活用

荷台がリフトすることにより、かがむ姿勢が減り、腰部への負担を低減できる。

